

# 造血幹細胞移植における リハビリテーション動画制作 仕様書

作成日：2026年6月1日

## 1. 事業背景・目的

### 1-1. 背景

造血幹細胞移植実施病院では、移植前後での患者の身体機能低下（筋力低下・易疲労性・日常生活動作の制限）が共通課題となっている。しかし、病院によって理学療法士をはじめとするリハビリテーション（以下、リハビリ）専門職の配置状況は異なり、移植後リハビリの質や指導内容に施設間格差が生じている。

また患者・家族側においても、退院後のリハビリに関する情報が不足しており、「何をすればいいかわからない」「どこまで動いていいかわからない」という不安の声が多い。

### 1-2. 本事業の目的

本事業では、以下の2つの目的を並行して達成することを目指す。

軸	目的	主な対象
第一軸	患者・家族が移植前後の生活・リハビリを正しく理解し、病院あるいは自宅で安全に実践できるよう支援する	移植患者本人・家族・医療者
第二軸	四国内の移植リハビリに関わる医療者が、一定水準の指導内容を共有・活用できる教育ツールを整備する	医療者

## 3. 動画の種類と設計方針

### 3-1. 動画の構成方針

本事業では、患者・家族への実践支援と医療者の指導力向上を一体的に推進するため、それぞれの視聴者に適した2種類の動画を制作する。

項目	【動画A】セルフトレーニング実践動画（患者・医療者向け）	【動画B】説明・指導用動画（医療者向け）
主な対象	入院中・退院後の移植患者本人、医療者	四国内の移植リハビリ担当医療者（PT・OT・看護師・医師）
目的	患者や看護師が動画を見ながら実際にその場で運動を行えるようにする。動画に	各施設のスタッフが患者指導時に使用できる共通教材・参考動画として活用する

	合わせて一緒に動くことができる「一緒に動く型」の実技動画	
尺・構成	3本構成・各5分（合計約15分）。「ベッド上」「ベッドサイド」「ベッドから離れて」の3段階で構成し、それぞれ独立した動画とする	合計20～30分程度（1本または前半・後半の2本構成）。詳細な医学的解説・指導ポイントを含む
スタイル	インストラクター（リハビリテーションスタッフ）が実際に動きながら指導するデモンストレーション形式。テロップで動作名・回数・注意点を随時表示。ナレーション付き	インタビュー形式＋解説スライド＋エビデンスの提示
公開設定	YouTube 一般公開または限定公開	YouTube 限定公開（URLを共有した医療者のみ閲覧可）
字幕	日本語のみ（一般の方でも理解できるように）	日本語のみ（医療専門用語使用可）

### 3-2. 動画Aの構成（セルフトレーニング実践動画・3本構成）

動画Aは患者の状態・活動レベルに応じた3段階の独立した動画とする。各5分。医療者が病棟で患者に見せながら一緒に行うことも想定する。

各動画の冒頭30秒に「こんな症状があるときは運動を中止してください」（発熱・息切れ・強い倦怠感・めまい・動悸）を必ず入れる。

#### ■ 動画A-1：ベッド上でできる運動（約5分）案

対象：ベッド上安静が主体の時期。寝た状態のまま全種目を行う。

順	種目名	動作の説明	目安	時間
1	腹式呼吸	仰向けでお腹に手を当て、鼻からゆっくり吸ってお腹を膨らませ、口からゆっくり吐く	5回	約1分
2	足首ポンプ運動	仰向けのまま足首をゆっくり上下に動かす（つま先を天井へ・床方向へ交互に）。血栓予防の基本運動	各10回×2セット	約1分
3	膝の曲げ伸ばし	仰向けのまま片膝ずつ曲げてお腹に近づけ、ゆっくり伸ばす。大腿四頭筋・腸腰筋の維持	各5回	約1分

4	太もも押しつけ運動	仰向けで膝を伸ばしたまま太ももをベッドに押しつけて3秒キープ・脱力。大腿四頭筋の等尺性収縮	各5回×2セット	約1分
5	上肢の挙上運動	両腕をゆっくり頭の上まで上げて戻す。肩関節可動域維持・上肢筋力維持	10回	約1分

### ■ 動画 A-2：ベッドサイドでできる運動（約5分）案

対象：端座位（ベッドの端に座る）が可能な時期。座った状態で全種目を行う。必要に応じて看護師が補助する。

順	種目名	動作の説明	目安	時間
1	端座位バランス保持	ベッドの端に座り、両手を横に軽く添えて姿勢を整える。体幹を安定させることを意識する	30秒保持	約0.5分
2	座位での足踏み	座ったまま左右交互にゆっくり足踏みをする。リズムをつけて行くと継続しやすい	20回（左右各10回）	約1分
3	かかと上げ（座位）	座ったままかかとをゆっくり上げて下ろす。ふくらはぎの筋ポンプ機能を促進し血栓予防にもなる	各10回×2セット	約1分
4	膝伸展（座位）	座位で片脚ずつゆっくり膝を伸ばして3秒キープ・ゆっくり戻す。大腿四頭筋の強化	各5回	約1分
5	立ち上がり練習	ベッドの端から「前傾→お尻を浮かせる→立つ」の動作をゆっくり行い、ゆっくり座る。必要時は手を添えてもらう	5回	約1.5分

### ■ 動画 A-3：ベッドから離れてできる運動（約5分）

対象：立位・歩行が可能な時期（入院中の歩行練習期～退院後の自宅での運動として）。壁や手すりを利用して安全に行う。

順	種目名	動作の説明	目安	時間
1	立位での足踏み	壁や手すりに軽く手を添えて立ち、左右交互にゆっくり足踏みをする。リズム感をもって行う	30秒×2セット	約1.5分

2	かかと上げ（立位）	壁に軽く手を添えて立ち、両かかとをゆっくり上げて下ろす。バランス感覚とふくらはぎの強化	各10回×2セット	約1分
3	浅いスクワット	足を肩幅に開き、壁に手を添えながらお尻をゆっくり少し落として戻す（深く曲げすぎない）。下肢全体の筋力維持	5～10回	約1分
4	廊下・室内歩行	姿勢を整えてゆっくりと一定のペースで歩く。距離よりも「疲れを感じない速さ」を意識する。自宅では室内を往復	約2～5分	約1.5分

動画A-3は退院後の自宅でも継続できる内容とする。室内の廊下・リビングで行えるよう、器具不要・最小限のスペースで実施可能な種目を選定する。なお、メニューについては今後変更の可能性はあるが、基本的に複雑な内容は控える方針である。

### 3-3. 動画Bの構成案（説明・指導用・医療者向け）

章	タイトル	主な内容	目安尺
1	移植後リハビリの概論	エビデンスに基づくリハビリの重要性・四国内の現状と施設間格差の課題	約8分
2	入院中の評価と介入	移植前後の体力評価・6分間歩行・握力・介入タイミングの考え方	約10分
3	退院後の指導ポイント	運動処方の実際・患者への伝え方・禁忌事項・GVHDとリハビリの注意点	約10分
4	多職種連携のポイント	医師・看護師・栄養士・PSWとの連携方法・カンファレンスでの活用	約7分

## 4. YouTube公開に関する設計・運用方針

### 4-1. 公開設定の基本方針

本事業ではDVDではなく主にYouTubeでの公開とする。これに伴い、以下の設計変更が必要となる。

項目	動画 A (患者向け)	動画 B (医療者向け)	備考
公開設定	一般公開または限定公開	限定公開 (URL のみ共有)	医療者向けは SNS 拡散を防ぐため限定公開を推奨
チャンネル管理	代表病院が一元管理	左記同	管理者・副管理者を明確にし、人事異動時の引継ぎ手順を定める
コメント欄	原則オフ (または承認制)	オフ	医療相談・個人情報投稿を防ぐため無効化を推奨
概要欄	病院名・問合せ先・免責事項を記載	利用対象・利用条件を明記	「この動画は医療相談に代わるものではありません」等の免責文言必須

#### 4-2. YouTube 公開に伴う著作権・肖像権の注意事項

- BGM・SE・効果音：必ず YouTube で商業利用可能なロイヤリティフリー音源を使用すること。市販 CD や一般音楽は使用不可。
- イラスト・アニメーション：商業利用・YouTube 利用が許諾されている素材のみ使用。制作会社が素材の使用許諾証明を納品物に含めること。
- 出演スタッフの肖像権：YouTube に顔が映る場合、氏名・所属等の表示可否を含めた「YouTube 公開用出演同意書」を別途取得すること (院内一般同意書では不十分)。

## 5. 制作仕様

### 5-1. 技術仕様

項目	動画 A (患者向け)	動画 B (医療者向け)
解像度・形式	フル HD (1920×1080px) / MP4 (H.264)	フル HD (1920×1080px) / MP4 (H.264)
編集素材	ナレーション音声・グラフィック原稿・イラスト一式を別途納品	左記同
チャプターマーカー	YouTube 用タイムスタンプの設置を必須とする	任意

## 5-2. 出演・撮影に関する仕様

- 出演者：医師・看護師・理学療法士（リハビリスタッフ）。患者役も病院スタッフが演じる。選定は病院側で行う。
- 出演同意書：YouTube 公開を前提とした専用同意書を全出演者から取得すること。将来の異動・退職後も動画を継続公開できる条件を同意書に明記する。
- 撮影場所：実際の病室・リハビリ室を使用する場合、入院患者・患者情報が映り込まないように撮影時間帯・場所を事前に調整する。
- 撮影日程：平日の業務時間外または土日祝祭日での調整をし、各病院スタッフの負担を最小化する。

## 6. 医療情報の品質管理・監修体制

### 6-1. 監修フロー

YouTube 公開動画は不特定多数が視聴するため、医療情報の正確性確保が最重要事項である。以下のフローを必須とする。

順	工程	内容	担当
①	台本・ナレーション原稿の作成	病院側が原稿を作成	各病院担当者
②	医学的内容の第1次確認	各病院の担当医師・リハビリスタッフが内容を確認・修正	各病院担当者
③	合同確認会議	四国内参加病院の代表者で内容の統一性を確認	各病院代表者
④	試写・最終承認	完成動画の試写を実施。各病院が承認書に署名することで公開を確定	全参加病院
⑤	公開・周知	YouTube 公開後、各病院の HP・院内掲示等で周知	各病院担当者

### 6-2. 免責事項の表示（必須）

YouTube 動画内および概要欄に、以下のような免責事項を必ず記載する。

- この動画は造血幹細胞移植患者の生活支援・教育を目的とした情報提供です。
- 個別の医療判断・受診の可否については必ず担当医にご相談ください。
- 動画の内容は制作時点の医療情報に基づいており、最新の情報と異なる場合があります。
- スタッフが患者役を演じた再現映像を含みます。

## 7. 四国内共同制作体制

### 7-1. 参加病院

- 四国の参加病院で共同して制作する。なお、愛媛県立中央病院を代表病院とし窓口となる。
- 参加病院は、愛媛大学医学部附属病院、松山赤十字病院、香川大学医学部附属病院、徳島大学病院、高知大学医学部附属病院、高知医療センター

### 7-2. 著作権の取り扱い

- 著作権は参加病院全体に共同帰属とする。代表病院が著作権管理を担当する。
- 各病院は、完成した動画を自院のHP・院内上映・研修会・YouTubeリンク共有等で自由に利用できる。
- 動画の無断編集・改変は禁止（誤情報化・文脈の変化を防ぐため）。変更が必要な場合は合同会議で合意の上、制作会社に修正を依頼する。
- 制作会社は著作権を一切保有しない。この旨を契約に明記する。
- 参加病院ロゴを冒頭・エンドロールに表示する。

## 8. 予算・スケジュール

### 8-1. 予算に関する課題と考え方

予算上限は100万円（税込）である。

費用項目	備考
企画・台本共同制作	基本的な企画や台本は基本的に病院側で制作
撮影（機材・スタッフ）	撮影日数・機材レンタル等による
編集・グラフィック・アニメーション	アニメ量・図表数による 使用する図表等は主に病院側で提供し、修正等を依頼
ナレーション	プロナレーター費用
ロゴ差し替えバージョン制作	参加病院数による
試写・修正対応（2～3回）	回数上限を契約に明記すること

## 8-2. 制作スケジュール（想定）

フェーズ	期間（目安）	主な作業
企画・提案フェーズ	2026年6月～9月	制作会社応募・選定審査・契約締結
台本・構成設計	2026年9月～10月	各病院スタッフとのヒアリング・台本作成・医学的内容確認・合同会議での承認
撮影フェーズ	2026年11月	撮影（場所は今後検討）
編集・グラフィック制作	2026年11月～2027年2月	映像編集・アニメーション・ナレーション収録・字幕制作
試写・修正（2～3回）・納品	2027年2月～3月15日	各病院担当者による確認・修正依頼・合同会議での最終承認・データ納品

## 9. 企画提案事項

提案事項	
企画・コンセプトの明確さ	スケジュールの妥当性
① 医療スタッフが理解しやすい構成	① 現実的な工程表（フェーズごと）
② 患者・家族が理解しやすい構成	② 確認・修正に十分な期間の確保
映像クオリティ	費用の妥当性（修正費用を含む）
① 映像や編集の適切な対応	① 見積書に示された費用の妥当性
② ナレーションの品質	② 詳細な内訳
提案書の充実度	
① 医療動画制作の実績	
② 提案内容の具体性	
③ 著作権の取り扱い方針	
④ アフターサポートや独自提案	等

## 10. 受託者の責務

---

### ● 関係法令の遵守

受託者は、本業務の遂行にあたり、医療法、労働基準法及び関係法令を順守する。

### ● 守秘義務

受託者は、本業務の履行にあたり、知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。これは契約解除及び期間終了後においても同様とする。

### ● 受託管理責任者

(1) 受託者は、本業務に関して必要な権限を有する者を受託責任者として選任し、当院に届け出るものとする。この場合の受託責任者は、本業務に関して相当な知識及び経験を有する者とし、緊急時にも対応できる体制とする。

(2) 受託管理責任者は、安全かつ円滑な業務遂行のため以下の業務を行うものとする。

- ア 業務従事者の適正配置及び教育指導
- イ 業務の円滑な管理・運営を目的とした現場の総括
- ウ 業務従事者への業務指示及び指揮監督・管理
- エ 業務計画の企画及び立案
- オ 当院との連絡調整

### ● 業務従事者

(1) 受託者は、受託管理責任者の指示を受け、現場での業務を担う業務従事者を置くものとし、当院に届け出るものとする。この場合の業務従事者は、本業務の目的を遂行するものとする。

(2) 業務従事者は、受託管理責任者の指示に基づき、以下の業務を行うものとする。

- ア 業務計画に基づく、安全な遂行
- イ 制作物の保守・管理
- ウ 業務に関する受託責任者へ連絡事項の報告
- エ 受託管理責任者からの指示に基づく業務

### ● 業務報告等

(1) 損害予防措置

- ア 危険及び損害予防措置

受託者は、業務にあたっては、当院または第三者に危害又は損害を与えないように万全の措置を取らなければならない。また、危害若しくは損害を与えた場合又はその恐れのある場合には、受託管理責任者は直ちに当院に報告するものとする。

## イ 損害箇所等に対する措置

業務従事者は、業務の遂行に支障を及ぼすことが発生した場合は、直ちに受託管理責任者に報告するものとする。報告を受けた受託管理責任者は、業務遂行のための最善策を検討・判断をし、直ちに業務従事者に対応を指示するものとする。また、受託管理責任者は、不測の事態により業務遂行が困難な場合は、直ちに当院に報告し適切な対応について協議することとする。

## ウ 賠償措置

受託者は、業務遂行上の故意又は過失により当院又は第三者に損害をもたらした場合は、その賠償責任を負うものとする。なお、当院及び受託者の協議の上、対応するものとする。

### ●業務の引継ぎ

契約解除等により、受託者が当事者でなくなる場合には、受託者は業務一切の引継ぎを当院が定める期間内に確実にを行い、当院に支障がないように対応するものとする。

### ●その他

- (1) この仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、当院及び受託者の協議の上、定めるものとする。
- (2) 著作権は参加病院全体に共同帰属。制作会社は著作権を一切保有しないものとする。
- (3) 完成動画・編集素材をすべて納品物とする。
- (4) 試写→修正は契約内で最低2回保証。3回目以降は別途費用の明示を求めるものとする。
- (5) 出演スタッフの「YouTube 公開用出演同意書」の取得・保管は病院側が行うものとする。
- (6) 制作過程で得た病院の情報・スタッフ情報・書類等は目的外に使用しない。
- (7) 個人情報制作プロセスで一切扱わない。患者の実映像・個人識別情報は使用しない。

## 11. 問い合わせ先

代表窓口病院	愛媛県立中央病院
担当者	リハビリテーション部 青木 卓也
メールアドレス	aoki_takuya@eph.pref.ehime.jp

以上